

1. 基本精神・学校教育目標

私たちは、『地域の期待に応え、地域から信頼される学園』として、新しい時代に、『志と誇りを持って、いきいきと生きる人間』を育成します。

2. 学校像

人間力・特性を伸ばす
 ◇挨拶日本一
 ◇自律・自立・貢献

3. 運営理念

輝く 生涯にわたって生きて働く力をつける
 人格の陶冶 高い志と誇り 自立・自己成長・社会貢献

↑
 極める 探究し 特性を発揮する
 学力の伸長 豊かな情操と強固な意志 健やかな身体・運動能力

↑
 徹する 集中し 磨く
 知・徳・体のバランスのとれた教育 基礎基本の徹底 自律・礼節

4. 運営目標・評価項目・達成状況

評価基準: 目標に対する達成率で次のように評価する。
 5:95%以上 4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:70%未満

運営目標	短期運営目標	本年度行動計画	評価指標	前年度	本年度		評価	運営目標の達成状況	
				実績値	目標値	実績値			
学力の向上	・学力の向上 ・意志を大切に した進路指導の充実 ・授業力の向上	・普通科では、最難関、難関、総合進学、スポーツの各コースが特性を伸ばし充実を図る。また、生徒の進路希望実現に向けて、学年・担任はもとより、各教科・各分掌・クラブ顧問などが連携し、全校的な取り組みを一層充実させる。加えて、国公立大学及び難関私立大学の合格者数を進学支援部を中心に展開させ増加させる。 ・工業科では授業の質を高め基礎・基本を定着させ、かつ資格取得のための技能習熟度を向上させる実習や補習に取り組んで即戦力として通用する“人材”を育成し、29年連続就職希望者内定率100%を実現する。 ・進路指導(進学・就職)における目的と手段の最適化を目指す協働態勢を構築する。 ・普通科各コース、機械科・電気科について、それぞれの特性に応じた特色教育づくりを一層推進する。教員間の役割分担と連携の再構築をし、生徒の進路設計を具体化して、自己の進路目標を達成するコース選択や学力・技能等を伸ばし、人生観・世界観・職業観・勤労観等を培う。特に普通科難関および普通科総合進学については、臨時委員会の「コース開発検討委員会」を実施させ、ニーズに応え得る発展的なコース開発を検討する。 ・校内外の教科研修を充実させる。言語活動及び課題発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学び(「アクティブラーニング」)をDX化を取り入れつつ実施し、授業力を高める。また各教科においてそのための研究授業を進める。 ・「教室のグランドルール」を定着させつつ、各コース、学科で策定してある特色ある教育、授業力の向上を目指す組織づくり(学年、教科、分掌の連携)を実践して、“生徒につけたい力”を育成し、検証する。	・合格者数(過年度含) ・就職内定率	45名 (50)	50名	100%	100%		
			進路指導に関するアンケート	満足度 89%	満足度 90%				
			教科指導に関するアンケート	満足度 89%	満足度 92%				
豊かな心の育成	・かかわりきる生徒指導の推進 ・クラブ活動の促進 ・特色ある教育内容の展開	“挨拶日本一”を追求し、礼節や規律を重んじ、対話の重要性を理解する態度を養う。教員自らの言葉遣いや振舞いなどの一層の成熟を目指す協働態勢を構築する。“教員がもつべき力”を研修等を通して策定する。「生徒一人一人を大切に」「組織的に」「オープンに」を掲げ、挨拶練習を各授業開始時に習慣化し、身だしなみ指導を適宜実施するなど、よりよい校風の樹立に全教職員が一体となって努める。 ・クラブ活動への参加を促し、文武両道を志向する部活動を通じて、「知」「徳」「体」「美」兼備の生徒を育成する。ワークショップ、ケーススタディなど研修を通して生徒が安心安全に活動が行えるように指導方法の点検・確認をし、適切な対応を行えるようにする。 ・体育祭・文化祭・修学旅行等の内容の充実を図り感動ある学校行事にする。また、高校1年生に「7つの習慣」の授業を実施し、全学年を通してすべての教育活動の基盤とする。iPadやSTEAM教室を国際交流、探究活動などの多岐にわたる学習活動で利用する。それらを応用し、様々な分野の教育を横断的に学び、想像力や創造的な方法によって問題解決をはかることができる“人材”育成に力を入れる。	生徒指導に関するアンケート	満足度 87%	満足度 90%				
			クラブ活動に関するアンケート	満足度 82%	満足度 85%				
			学校行事等に関するアンケート	満足度 90%	満足度 90%				
学校体制の充実	・信頼される学校づくり ・生徒募集の強化 ・学校組織の機能化及び人材の育成	・「萌黄」! 学年通信」を継続発行して保護者と連携を図る。一人1台のiPad導入により、生徒個々の目標設定と、その取り組みを支援できるよう、「Classi」・「スタディサプリ」等のグループウェアを使用し、双方向に生徒との連携を図る。 ・教育活動に関するアンケート調査・いじめに関するアンケート調査・体罰暴言アンケート調査などを定期的の実施し、課題に対して丁寧に学校の改善につなげ、信頼される学校づくりにつなげていく。 ・広報・募集部を中心に、全職員が塾や小学校・中学校の児童・生徒及び保護者に積極的に働きかけ、協働して高校250名以上の入学者を確保する。 ・協創教育の実現を目指して、前年度統合した分掌を一部再編した。業務を機能的・組織的に行い、合理的かつ効果的に推進する。また、校内外の研修を通して、教員が自己研鑽を実践するとともに、組織の一員として自発的、意欲的で協働的な教育活動の実践を目指すよう高めよう。 ・学校創立70周年に向けて、「70周年記念事業準備委員会」を立ち上げる。	教育全般に関するアンケート	満足度 83%	満足度 85%				
			入学者数	248名	250名				
			実施状況	教員研修 37回	教員研修 35回				